

Vol.185

とよたち美肌通信

12月号



あ.あ.

若い頃や学生時代に、何故勉強しないといけないのか？と感じた事はありませんでしたか。私は常に思っていました。何故なら勉強が大嫌いなからです。しかしながらそう思う一方で勉強しなければいけない理由が必ず存在するのだなとも思っていました。

小学生時代私は算数が極端に苦手でした。しかし所謂丸暗記で何とか熟せる科目はそこそこの成績でした。そしていつしか中学1年生。私達の時代、小学と中学の圧倒的な違いは英語が教科に入ってくることでした。今思うと生まれ変わってやると思っていたのかも知れません。英語だけは横一列のスタートだったからです。数学には算数と異なる定義、というものが数多く存在します。それにおる時気付いた私は、数学は全て暗記してやろうと思いました。その為にとにかく数多くの問題を我武者羅に解きまくり、系統別に整理して片端から頭と手で覚えていきました。そんなこんなで中学から高校までの6年間は只管ハンを握って紙に書きまくることに明け暮れました。

すると次第に各教科(国語や数学や化学・物理・生物等の自然科学)に接点や共通点がある事に気付いてきました。それは『物の考え方』です。別の言い方では『多面性』や『外から内を見るだけでなく、内から外を見る力』を養うことだと思える様になり、その考え方は今でも変わりません。例を挙げます。コップに水が満たされていると相像します。

算数を学べば"コップ"の中に100mlの水があるという事を
数字という概念で理解することが出来ます。また化学
を学べば"コップ"の中に入っている水は水素と酸素で構成さ
れている事を理解出来る様になるのです。そしてそのコップ
から水が零れない理由を理解することが可能になります。
社会を学べばこの100mlの水がどこで作られ今自分の眼
前に存在しているのかを知ることが出来る。そして地理を学
べば飲用出来る水と出来ない水が存在し、飲用出来ない水
を飲用し健康を害している人々が世界にはまた存在し、その
人々も自分と同じ人間であることを知る事となる。美術を学べ
ば"デッサン"で水の光輝をも美しく描く事が出来る様になる。
音楽を学べば"同じコップ"でも水の量を変えることで音色
が変化する事が知れる。生物を学べば"水"が"人体"にとってどれ
だけ大切な物質であるかが理解することが可能になる。
そして道徳を学べば"この水を誰かと分かちあふ事の大切さ"と
思いやりの心が育つのです。これらを総括する様に"国語を学ぶ"ことで
私達は今話した全ての意味を正しく理解することが出来る。更に
英語を学ぶことで、私達はこの話を世界中の人々と分かち合える様
になります。哲学を学ぶとこの話にどんな意味があるのか考えら
れる様になる。しかしもし何も一切学ばなかったら、コップの中に
存在する水は只の水で終わってしまう。だから勉強するのだと思う。
勉強することによって、この土世界になせ"人類が誕生したのか。
そしてこれからどう生きなければならないのか。また自分はどう生
きたいのか。この世界を、只見ているだけの人生で終わらせな
いために。だから勉強することが求められるのです。 院長, 持

12

今月号のとよたち美肌通信の
表紙は、みんなとっても幸せそうな
かわいい動物たちの花束です!!

絵手紙を描く事が趣味な男性の方が
描いてくれました。
素敵な表紙をありがとうございます。

院長はじめスタッフ一同バリエーション感謝
いたします。

2025年は皆様たちからわたくし科に
通院していただきありがとうございます。

2026年もどうぞよろしく
お願いいたします (๑)

よいお年を!!

